

まちづくり目標3 活気と安心がひろがり住み続けたいまち

3-2 みどりとまちが調和した安全・安心のまち(都市基盤・安全・安心)



【重点施策】

(1)安全・安心に暮らせるまちづくり

(2)快適で文化的に暮らせるまちづくり

(3)誰もが快適に移動しやすい交通体系のまちづくり

重点施策

(1)安全・安心に暮らせるまちづくり

施策のめざす姿(5年後のあるべき姿)

誰もが安全・安心に暮らせるまちになっています。

現状・課題

現 状	課 題
○ハザードマップの整備や配布、出前講座、防災訓練を通して危険箇所の周知や防災啓発に取り組んでいます。また、避難行動要支援者名簿に関する条例を制定し、関係部署・関係機関と連携して災害に対応できる環境づくりに取り組んでいます。	○今後も地域防災計画に沿った防災体制の構築とともに、見守りネットワークづくり、福祉避難所の充実、支援体制の強化などが必要です。
○自治会や地域活動団体との継続的な連携により、不審者情報等や生活道路の安全対策に関する計画をホームページやSNS等で周知しています。	○今後も地域のニーズを拾いながら的確な防犯・交通安全対策に取り組む必要があります。

施策の展開

①防災・防犯体制の強化

「南風原町地域防災計画」に基づく防災施策の推進や業務継続計画(BCP)の運用に

より行政機能の継続性を確保するとともに、防災訓練や自主防災組織の育成、避難行動要支援者等の体制の整備を進め、防災・防犯体制の強化を図ります。

②地域協働による防犯対策の推進

防犯灯や交通安全施設の設置、「子ども110番の家」登録店舗の活用など、地域と協働した安全・安心な環境基盤づくりを推進します。

重点施策

(2)快適で文化的に暮らせるまちづくり

施策のめざす姿(5年後のあるべき姿)

生活の質が向上し、快適な住環境が形成されています。

現状・課題

現 状	課 題
○本町は、三大森(黄金森、高津嘉山、新川森)や国場川・長堂川などの自然環境を有し、まちに潤いを与える資源となっています。	○気温上昇の抑制や水質浄化、水源涵養機能 ^{※21} による防災・減災など様々な機能を持つグリーンインフラ ^{※22} としての活用が望まれています。
○公園・広場の維持管理を適正に行うことにより、利用者に安全な憩いの場を提供しています。 ○公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設修繕や更新を行うことで、公園施設の安全な利用と機能維持に取り組んでいます。	○利用者ニーズや地域特性に応じた公園づくりを進めるため、多様な主体との協働による維持管理体制の充実を図るとともに、公園機能や利用環境の向上に取り組む必要があります。 ○公園長寿命化計画に沿って計画的な施設修繕、更新が必要です。
○本町の特性である都市と農村のバランスに配慮した土地利用を推進しています。また、良好な景観や緑陰のあるまちづくりに取り組んでいます。	○良好な景観や快適な住環境を維持していくためには、街路樹等の適切な維持管理が必要ですが、限られた予算の中で継続的に管理していく必要があります。このた

※21 水源涵養機能:森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能のことを言います。また、雨水が森林土壌を通過することにより、水質浄化の効果もみられます。

※22 グリーンインフラ:社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能(生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等)を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるものです。

現 状	課 題
○「土地利用の促進」の取組について、重要度・満足度ともに高い結果となっています。(町民アンケート調査)	め、景観に配慮した効率的かつ持続可能な維持管理手法の検討が求められています。
○下水道の整備は計画通り進んでいます。汚水事業に加え、雨水事業や宅地内浸透の導入などを進め、内水氾濫及び河川氾濫を防ぐ取組を進めています。	○引き続き、内水氾濫をはじめとした浸水被害の軽減対策や、汚水処理の未普及対策が求められています。
○「生活排水の処理(下水道)整備」の取組について、重要度・満足度ともに高い結果となっています。(町民アンケート調査)	○長寿命化計画に沿って施設の長寿命化を図る必要があります。 ○公共下水道は供用開始から約40年経過しており、施設の老朽化対策が課題となっております。

施策の展開

①水と緑のネットワーク形成による都市環境の質の向上

自然環境の保全を図るとともに、三大森(黄金森、高津嘉山、新川森)をはじめ、公園・緑地や河川の水と緑のネットワークを形成し、都市環境の質の向上を図ります。

②安全・快適な公園づくりの推進

安全で快適な利用環境を維持するため、適正な維持管理を推進するとともに、利用者ニーズや地域特性を踏まえた公園づくりを推進します。また、多様な主体との協働による維持管理体制の充実を図るとともに、公園長寿命化計画に基づき、施設の計画的な修繕・更新を推進します。

③計画的な土地利用と良好な景観形成の推進

都市と農地のバランスに配慮した計画的な土地利用を推進するとともに、良好な景観づくりへの誘導や街路樹の適切な維持管理に努め、緑陰のあるまちづくりを図ります。

④下水道等の生活排水処理基盤整備の推進

公共下水道(汚水・雨水)は、人口集中区域や浸水地域を重点に計画的な整備を進めるとともに、近隣市町との連携や適切な維持管理を行い、接続促進、地域特性を踏まえた合併浄化槽の設置により、安定的で効率的な汚水・雨水処理体制の構築を図ります。

重点施策

(3) 誰もが快適に移動しやすい交通体系のまちづくり

施策のめざす姿(5年後のあるべき姿)

誰もが快適に移動しやすい交通ネットワークが構築されています。

安全・安心で快適な道路空間が創出されています。

現状・課題

現 状	課 題
○都市計画道路である広域交通幹線軸と町域内の道路整備が進められ、交通ネットワークの形成が図られています。一方で未整備路線、未整備区間も多く残っています。	○都市計画道路の整備を着実に推進し、交通ネットワークの充実により、交通の円滑化や生活利便性のさらなる向上が求められています。さらに、安全で快適に移動できる交通環境の形成を進める必要があります。
○交通の要衝である本町は、交通の利便性が向上している一方で、地域内の生活道路で通り抜け交通の増加により、住民の安全性が低下しています。	○引き続き、町道及び生活道路の安全性を確保する取組が求められています。
○自動車依存度が高く、公共交通は路線バスに限られています。高齢化社会の到来に伴い、日常の移動に不便を感じる住民が増加しており、既存の公共交通だけでは移動需要に十分対応できていません。	○高齢者を含む移動困難者が安心して移動できる交通手段の確保・充実が求められています。

施策の展開

①都市計画道路の整備・推進

都市計画道路の整備を計画的に推進し、広域交通幹線軸と地域内道路網の連携強化を図ります。また、安全で円滑な交通環境の形成により、誰もが移動しやすい交通ネットワークの充実を推進します。

②安全で快適な道路環境の整備

広域幹線道路と生活幹線道路の効果的な結節により利便性の向上を図るとともに、歩行者や自転車等が安心して共存できる道路空間の形成を推進します。また、交通事故多発箇所や通学路の安全対策を進めるほか、スポーツ・レクリエーションにも配慮し

た道路整備を検討します。

③利便性の高い公共交通ネットワークの構築

こども・若者・高齢者・観光客など多様な利用者の移動ニーズに対応するため、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を推進します。

1

5年後(令和13年度)の目標値

指 標 名	現状値		目標値 (令和13年度)
	(令和2年度)	(令和7年度)	
自主防災組織数	4団体	10団体	13団体
災害に強いまちづくりに関する取組の満足度	29.0%	36.5%	55.0%
公園や緑地の保全や充実に関する取組の満足度	44.7%	39.9%	50.0%
下水道計画面積整備率(浸水対策) (整備区域／全体的区域)	27.5%	30.9%	33.5%
下水道計画面積整備率(未普及対策) (整備区域／全体的区域)	48.8%	52.9%	56.8%
町道改良率(改良済路線数／改良 予定路線数)	—	0.0%	100.0%
都市計画道路の整備率	45.0%	52.2%	67.9%

2

個別計画

- | | | |
|----|------------------------|-------------------|
| 3 | ○南風原町国土強靱化地域計画 | |
| 4 | ○南風原町地域防災計画 | |
| 5 | ○南風原町災害廃棄物処理計画 | |
| 6 | ○南風原町耐震改修促進計画 | ○南風原町都市計画マスタープラン |
| 7 | ○南風原町景観計画 | ○南風原町森林整備計画変更計画 |
| 8 | ○南風原町公園施設長寿命化計画 | ○南風原町下水道事業経営戦略 |
| 9 | ○南風原町橋梁長寿命化修繕計画 | ○南風原町一般廃棄物処理基本計画 |
| 10 | ○南風原町流域関連公共下水道事業計画 | ○南風原町人口ビジョン及び総合戦略 |
| 11 | ○南風原町公共下水道ストックマネジメント計画 | ○南風原町総合交通戦略 |
| 12 | ○南風原町交通基本計画 | ○南風原町無電柱化推進計画 |
| 13 | | |

本町の各種計画一覧
へのアクセスはこちら→

